

平成27年度第2回社会保険等システム検討委員会議事録

(平成27年5月22日、神戸国際会議場)

出席者(五十音順)

平泉 裕(担当理事)、青田洋一(委員長、書記)、川上紀明(アドバイザー)、武者芳朗、

討議事項

1) 試案作成の結果<高度脊柱変形に対する椎間板郭清ないし椎体骨切りを併用する後方矯正固定術>が1、<腰椎分離部修復術>が2、<歯突起骨折接合術>が3、<立位立体画像による手術支援加算>が4、<立位全身骨撮影(術前精密検査)>が5、<立位全身骨撮影>が6、<内視鏡下椎弓形成術>が7、<経皮的内視鏡下椎間板切除術>が8、<骨折後偽関節に対する自家骨髄血移植>が9とした。

2) JOA との関わりに関して、本委員会委員が JOA の社保委員を兼任する方針を進め、JOA の社保委員になられた先生には JSSR の本委員会委員にもなっていただき、脊椎に関連する事案は本委員会で審議していく方針とする。

3) 厚労省とのヒアリング

<高度脊柱変形に対する椎間板郭清ないし椎体骨切りを併用する後方矯正固定術>と<脊椎固定術の適応拡大(<腰椎分離部修復術>、<歯突起骨折接合術>)の2件を予定する。

日程希望日は7/31, 7/6, 7/7, 7/14, 7/17, 7/21, 8/10/, 8/11とし、(Paper point, 文献) A4のプリントアウト 8部を用意する。

平泉 裕（担当理事）、青田洋一（委員長）、川上紀明（アドバイザー）、伊藤淳二、武富英二、川口善治、武者芳朗、米澤郁穂、遠藤健司（書記）

外保連委員（定員 5 人）：青田（実務）遠藤（手術、麻酔）、米澤（実務、手術）、川口（実務）、武者（検査、処置）

1）外保連担当より

実務、手術委員会報告：平成 28 年度診療改訂要望書作成について
歯突起骨折、分離部修復（川口委員）、高度脊椎変形（米澤委員）、
椎弓切除 + 椎間板摘出など（平泉委員）、EOS 関連（青田委員）、椎体骨折術後地域携
関連（遠藤委員）が 4 月 25 日までに作成し青田委員長に提出する。

高度脊椎変形手術の申請は当初 3 つの術式に分類して要望を提出したが、手術時間と労力の点で大きな差がないこと、および現在、難易度 E から D に下がっている TES に準じる点数で申請することが好ましい点を考慮し一つにまとめる方針となった。しかし、この申請ではより難易度の高い本当の意味での高度脊椎変形手術が TES 並の点数でしか請求できない点と、さらには収載されれば変更が困難になるとの意見が川上アドバイザーから出された。しかしながら、こうした観点からは要望提出の準備をしておらず、今回は上記のとおり、まとめて TES 並とする方針でしか申請できないため、厚労省に陳情する時点でより難易度の高い手術があると説明を加える方針とすることを青田委員長から説明した。

新しい評価軸検討ワーキンググループについて

現在の時間、人数、物品などの総和で行った医療費の決定によって、帝王切開などの手術料が減額されてしまったことを踏まえ、新たな評価軸を作成していることを説明する。何か良い案があったら手術担当委員（遠藤委員）まで連絡してほしい。

2）平成 30 年度診療改訂要望に向けた平成 29 年度外保連試案作成要望項目について
今までの委員個人が収集するという方法から、会員の意見を広く集めるという方法に変更したい。年 1 回、JSR 事務局から Web を使用した方法でアンケート調査をする（伊藤委員素案作成担当）。素案は事務局で正式な Web アンケートとして完成し、評議員を対象に調査する。また、それ以外のまったくの新規手術や処置に関しては、基本的には新規技術委員会での承認を経て当委員会から試案申請ないしは厚生省に交渉を行うことをルール化したい。

3）将来的に脊椎手術例の全国データベース化は、透明性のある医療報酬を請求するた

めに必要である。NCD 加盟については、平泉担当理事から理事会において、また遠藤委員が評議委員会で提案したが、持田理事長から費用の面で現在加盟困難であること、脳神経外科の加盟は、脳卒中のみで脊椎疾患に及んでいないことなどの説明を受けた。今後も他の調査を必要とする、専門医委員会、新規技術委員会や M&A 調査と連携してデータベース化を推進する立場であることを理事会に繰り返し説明していく。

4) 次回、委員会より前回委員会での決定事項の履行状況を説明したうえで、次の審議に移ることを提案、日整会理事会での当委員会の決定事項のフィードバックなどを連絡してもらえよう、日整会の社保委員を兼任する委員を委員に含めるとともに、脊椎関連の要望は当委員会が担当するべく、日整会にお願いしていく。

5) その他

参考資料

外保連予定

平成 27 年

- | | |
|-----------|---|
| 3 月 | 外保連・内保連から提出予定の要望項目の記載学会の調整 |
| 3 月 | 第 1 回実務委員会 |
| 3 月下旬 | 要望書記載学会への要望書作成依頼 (=新設・改正・材料要望項目要望書の web 入力開始依頼) |
| 4 月下旬 | 新設・改正・材料要望項目要望書締切 (=新設・改正・材料要望項目要望書の web 入力締切) |
| 5 月 | 外保連事務局による校正作業 |
| 6 月上旬 | 外保連総会にて承認(3 月総会の要望項目承認のみで開催しない場合もある) |
| 6 月中旬 | 厚生労働省へ要望書 (製本なし) を持参し陳情に伺う |
| 7 月 | (要望書として製本する場合は製本し、関係方面に配布) |
| 8 月 ~ 9 月 | 厚生労働省によるヒアリング実施 (未定) |